



昼生小学校

第3号

学校運営協議会だより

発行：令和5年12月22日

小学校では2学期の終業式があり、明日から冬休みが始まります。今年も子どもたちの教育にご支援いただき、ありがとうございました。子どもたちは1月8日まで、家庭や地域で過ごしますので、引き続き、見守りをよろしくお願いいたします。これから寒くなりますが、皆さんもお元気で年末年始をお過ごしください。



【図書室掲示】

12月13日 第3回学校運営協議会を開催

開会にあたり、草川会長より「インフルエンザの流行で5年生が学年閉鎖となっています。体調管理にご留意ください。」とお話がありました。西川校長からは、「新型コロナが5類に移行し、ようやく学校行事が平常どおり開催できるようになりました。2学期末を迎え、インフルエンザの流行が気になります。この時期は、アンケートを行うのでご協力をお願いします。」とお話がありました。

2学期の子どもたちの様子



◎学校全体

- ・11月に、子どもがケガをする出来事が2件ありました。休み時間と授業中に起きたので、再発防止に向けて指導のあり方を振り返るとともに、一人一人が気をつけて、お互いの声掛けで事故を防いでいくため、全校集会を開きました。
- ・児童会が挨拶ラリーや挨拶標語に取り組んでいて、標語ポスターを制作します。

1年生：繰り上がりの足し算が早くなった。他人に注意するときは、やさしい言い方にしたり、助けたりするように声をかけている。

2・3年生：2年生は、九九を楽しみながら学習した。3年生は、算数や道徳で学習リーダーが学習を進めるようにしている。

生活面では、仲は良いが、相手の気持ちを考えて行動するように話し合っている。

4年生：分かりやすく伝える方法を考えて、防災マップを作っている。時々、言い争うこともあるが、全員で話し合っ解決するようになってきた。

5年生：稲作体験の発表や米販売等で、自分たちで作業を分担し協力して取り組んだ。これからももち米を作りたい。言葉遣いについて振り返ったり、話し合ったりしている。

6年生：授業では、学習リーダーが中心になって進める活動を増やしている。進んで発表する子どもは限られている。学校行事では、下級生も楽しめるように考えて行動している。

クラス全体で児童会役員をサポートしていきたい。

☆委員からは、「子どもは思わぬ動きをすることもあるが、事故のないようにしっかり取り組んでほしい。」「学校に来ると、よく挨拶をする。」「地域では、あまり挨拶をしない。」「見守り活動のときは挨拶をしてくれる。」「散歩で会うと挨拶をしてくれる。」などの意見が出ました。

複式教育の推進に係る取組状況



◎白川小学校二複式授業の視察

10月17日に、学校運営協議会委員4名で、白川小学校へ二複式授業の視察に行きました。昼生小学校も、2年後に二複式学級となることが想定されますので、先行している白川小学校の授業の工夫や学校の体制について学びました。



◎学校ボランティア活動にのべ123人

今年度から始まった学校ボランティア活動に、11名の地域の方が登録され、11月末までにのべ123人が活動していただいています。おかげで、子どもたちが安心して学習したり、楽しく学校生活を過ごしたりしています。ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございます。

【図書館】のべ40人。月々に合った掲示物の作製、書架の見出しの作製、読み聞かせ等。

【花壇、園芸】のべ17人。子どもたちとともに花の苗作り、苗植えの作業。

【家庭科】のべ25人。裁縫や調理実習の見守り。

【算数(複式学級)】のべ41人(9月から)。2・3年生の算数の複式授業の見守り。

☆委員からは、「昼生小でも学習リーダーの子どもが学習を進めているので、引き続き学習リーダーを育ててほしい。」「教員配置の人的要望を続けてほしい。」「2年後には二複式学級となり、学校の努力では限界がある。複式を実施している学校と連携して、支援体制を整えるための市の方針を出してもらうように働きかけてほしい。」「地域のボランティア活動は大切であるが、それで大丈夫という訳ではない。」「地域活動を活かして、対価を払う市の制度を考えてほしい。」「どの先生も複式授業ができるように研修を進めてほしい。」などの意見がありました。

児童・保護者アンケートの結果

…主な意見交流…

【姿勢】

「よく気をつけている」回答は2割で、ボランティアに入ると、左手を机に置いて支えていない姿が気になる。

【授業がわかる】

難しそうな内容は、繰り返し学習していくことでわかるようになっていく。

成績がほとんど「できる」になるのは、素晴らしいことだ。

【将来の夢】

学力調査では、将来の夢をもたない人数が多かった。周りの大人が、子どもたちに何ができるのか考えたい。

いじめ防止・人権教育の取組

…主な意見交流…

・いじめ防止強化月間に、関係づくりの行事や人権標語づくりなどを通して、人権について学んでいる。いじめ防止アンケートや聞き取りにより状況把握を行っている。

・子どもがいじめを先生に伝えず、見えていない部分もあるかもしれない。休み時間や地域での普段の様子をつかむことが大切である。

・周りの人が気になる様子があれば、学校に伝えて、対応していくことが大切である。いじめのきっかけの段階で解消していく必要がある。

・社会には人権問題も差別の問題もある。子どもたちも、しっかりと学んでほしい。